Creative Enzymes®

# ネイティブ・クロタルス・ホスホリパーゼA2

*Cat. No. NATE-0591*

*Lot. No.* (See product label)

## *はじめに*

| | |
|---|---|
| *□明* | ホスホリパーゼA2（PLA2s）EC 3.1.1.4は、グリセロールの第二炭素群から脂肪酸を放出する酵素です。この特定のホスホリパーゼは、ホスホリピッドのsn-2アシル結合を特異的に認識し、触媒的にその結合を加水分解してアラキドン酸とリゾホスホリピッドを放出します。下流のシクロオキシゲナーゼによる修飾を受けると、アラキドン酸はエイコサノイドと呼ばれる活性化合物に修飾されます。エイコサノイドには、抗炎症および炎症メディエーターとして分類されるプロスタグランジンやロイコトリエンが含まれます。 |
| *別名* | EC 3.1.1.4; リン脂質加水分解酵素A2; PLA2s |

## *製品情報*

| | |
|---|---|
| *種* | クロタルス |
| *由来* | コブラクサス・アダマンテウスの毒 |
| *形態* | 凍結乾燥粉末 |
| ***EC番号*** | EC 3.1.1.4 |
| ***CAS登□番号*** | 9001-86-9 |
| *分子量* | 30 kDa (Wells 1969). |
| *純度* | クロマトグラフィーで精製された、透析された |
| *活性* | > 乾燥重量1mgあたり200単位 |
| *等電点* | AαとAβのそれぞれの値は4.55と4.40です（斉藤 1962）。 |
| *特異性* | 基質特異性が調□されました（VanDeenen 1963）。 |
| *活性化因子* | カルシウムイオン (Dennis 1973)。 |
| *阻害剤* | 亜鉛、バリウム、マンガンイオン（Uthe 1971）。また、Golec et al.（1992）も参照してください。 |
| *単位定義* | 1ユニットは、25°C、pH 8.9で大豆レシチンから1分あたり1マイクロモルの酸を放出します。 |

## *保管・発送情報*

| | |
|---|---|
| *保存方法* | 2-8°Cで保管してください |
| *安定性* | 酵素は90°CおよびpH 3.0で少なくとも5分間安定しています。(Uthe 1971; Saito 1962)。 |